

# 焼

〔4年〕

12画  
火 灶 焔 焔 焔 焔

なりたち 旧字体は焼。背の高い人を表した竟(焔)と火との会意形声字。炎を高く上げて火を燃やし、「物を焼く」ことを表した字。「焼ける」こと。



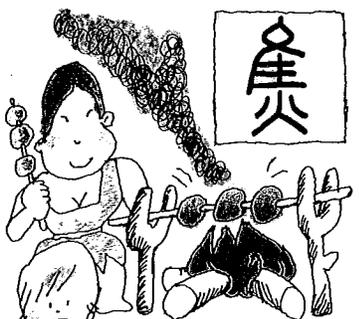
# 焼焦

# 焦

〔6年〕

12画  
イ 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 佳 焦

なりたち 鳥の形をかたどった佳(ふるどり)と、火を表した(れつか)との会意形声字。鳥を焼いて、鳥が「焦げる」ことを表した字。「焦がす」こと。また、「心を焦がす」意味から「焦がれる・焦る」こと。



シヨウ

こげる・こがす・こがれる・あせる

いみじゆくこ  
▼焦げる。焦がす。  
焦熱：焼けるような熱さ。例  
焦熱地獄(仏教で、八大地獄の一つ。生前の罪の報いで猛火に苦しめられるときをさる。)

▼焦がれる。  
焦土：①焼けた土。②建物や木が焼け失(う)せて、何も無い土地。  
▼焦がれる。  
焦る。いらだつ。  
焦慮：焦ること。用例焦慮の色が見える。  
焦燥：焦っていらだつこと。  
用例焦燥に駆られる。  
焦心：気をもむこと。焦ること。

よみかた 焦点・黒焦げ

# 煙

〔6年〕

13画  
火 烟 烟 烟 烟 烟 烟

なりたち 旧字体は煙。本字は煙。かまどから煙の出ている形をかたどった煙と、火の会意形声字。「けむり」を表した字で、「けむる・けむい」などを使う。



# 煙灰

# 灰

〔6年〕

6画  
一 厶 厶 厶 厶 灰

なりたち 旧字体は灰。手の形を表したナと、火の会意字。火の上に手をかざした形で火が消えて「灰」になっことを表した字。



シヨウ

こげる・こがす・こがれる・あせる

いみじゆくこ  
▼灰。  
灰燼(じん)：灰と燃えさし。  
用例灰燼に帰する。(火事ですっかり焼けてしまう。)

死灰：火の気の無くなった灰。また、そこから生気の無くなったもの。  
石灰：生石灰・消石灰の総称。セメント・肥料・消毒剤用。  
例石灰岩(水中動物の骨などが水底に積もって出来た水成岩。石灰・セメント製造の原料・石材用。)

よみかた 灰土・火山灰・降

